
虚夢（鳥になりたかった青年）

麻生かなえ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

虚夢（鳥になりたかった青年）

【コード】

N3037Q

【作者名】

麻生かなえ

【あらすじ】

絵画にハマってしまった青年。はたしてどうなるのか…？

ネアンという青年がいた。

彼はシュルレアリスムと呼ばれる幻想画に夢中になっていた。

ダリ、エルンスト、マグリット、タンギー、ミレ等の画家の絵画に。

シュルレアリスム…芸術の形態、主張の一つ。超現実主義ともいう。

だが彼はシュルレアリスムに夢中になったわけではなく、シュルレアリスト達が描いた幻想画の絵世界に夢中になったのだ。

特になぜか鳥になりたがるシュルレアリスト達が描いた鳥人間の絵に夢中になった。

彼は異常だった。

やがて現実と虚構の差がなくなりはじめ、シュルレアリスム世界が真の世界で、現実世界が偽の世界だと妄想するようになった。

部屋も奇妙な家具等を集めたり、部屋にシュルレアリスト達の描いた幻想画を壁一面にすきまなく飾ったりした。

それではあきたらず、画力の高い彼は自分でシュルレアリスム世界をテーマにした幻想画を何かにとりつかれたかのように何も食べず外にも出ず一日中描き続けた。

街の人達は彼の事を『異常者な画家』と陰で言うようになった。

そんな事は気にせず、シュルレアリスト達の描いた鳥人間の絵を眺めていたら、自分の姿がこれで人間姿が嘘の姿ではないかと思うようになった。

たとえばこの両手が大きな美しい翼だったらどうだろう。

この両足が鳥の足だったらどうだろう。

この口が嘴だったらどうだろう。

彼はいてもたってもたつてられず、白い鳥姿に仮装して鏡の前で酔いしれていた。

これが僕の本当の姿だ。

だが、完全に憧れの鳥ではない為、空を飛ぶ事が出来ず、人間姿に戻ったのを見て鏡の前で嘆いていた。

ある日自分が死ねばシュルレアリスム世界にいけて完全に鳥の姿になれるのではないかと考えた。

大空を自由に飛び回りたい。

シュルレアリスム世界に行きたい。

もはや彼の頭の中に死という恐怖がなかった。

そして彼は首吊り自殺をした。

奇妙な事に発見された時、彼の表情はまるで穏やかだったという。彼にとつて束縛に近い人間世界の解放による安心感なのか？

もうすぐ憧れの鳥の姿になれるかも知れない嬉しさなのか？

なぜ彼は自殺するまでシュルレアリスム世界に依存してしまった

のか…？（終）

(後書き)

絵画をテーマにした作品を書きました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3037q/>

虚夢（鳥になりたかった青年）

2011年1月26日10時43分発行